

昭和53年度 和歌山県文化功労賞

あき ら みつ さぶろう
明 楽 光三郎

住 所：和歌山県海南市

出 身 地：和歌山県

生 年：明治36年

◎業績及び経歴

昭和3年東京歯科医学専門学校卒業、歯科医、市議、市長の職にありながら広い範囲で文化活動続けられてきた。

学生時代、川口軌外氏に師事し独立美術展第2回展に初入選以来、連続9回入選されている。

絵画だけでなく、日本写真美術展や、仏独の写真コンテストにも入選、昭和11年、アマチュアカメラクラブ海南黎明カメラクラブを創立、その活動が認められ昭和52年県文化奨励賞を受けているほか、洋画同好会エトアール創立当時の会員で、この団体も昭和48年県文化奨励賞の受賞に浴している。また全日本写真連盟関西本部委員の要職を永年勤めたことにより功労賞を受賞されている。

戦後まもなく海南文化協会を復活させて会長を務め、昭和22年には県美術家協会会長。県展創設の立役者にもなった。

県下の俳人、歌人を網羅した俳句、和歌集「南風」を発行したのもこのころで、41年海南市長に当選されても県下の文化活動の原動力として働き続けた。現在、海南文化協会名誉会長、県美術家協会名誉会長、県展審査員、県美術館協議会会長、県民文化会館事業委員。